

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2017年12月14日(14.12.2017)



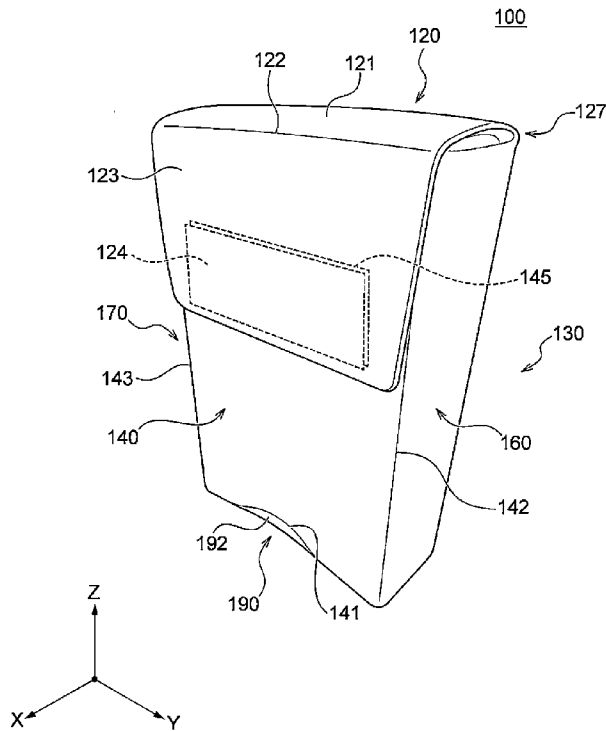
(10) 国際公開番号
WO 2017/212583 A1

- (51) 国際特許分類:
B65D 85/10 (2006.01) *A24F 17/00* (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2016/067101
- (22) 国際出願日: 2016年6月8日(08.06.2016)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人: 日本たばこ産業株式会社 (JAPAN TOBACCO INC.) [JP/JP]; 〒1058422 東京都港区虎ノ門2丁目2番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 国分 靖 (KOKUBUN, Yasushi); 〒1308603 東京都墨田区横川一丁目17番7号 日本たばこ産業株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 小野 新次郎, 外 (ONO, Shinjiro et al.); 〒1000004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル206区 ユアサハラ法律特許事務所 Tokyo (JP).

- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS,

(54) Title: CIGARETTE CASE

(54) 発明の名称: シガレットケース



(57) Abstract: Provided is a cigarette case from which a cigarette can be taken out easily even if cigarettes are densely accommodated therein. A cigarette case is provided. The cigarette case comprises a case body having a front surface part, a rear surface part, a first side-surface part, a second side-surface part, and a bottom surface part. The front surface part has a front surface first end connected to the bottom surface part, and an inclined front surface part extending to the front surface first end and inclined toward the inside of the case body.

(57) 要約: シガレットが密に收容されていたとしても、容易にシガレットを取り出すことが可能なシガレットケースを提供する。シガレットケースが提供される。このシガレットケースは、前面部と、後面部と、第1側面部と、第2側面部と、底面部と、を有するケース本体を有し、前記前面部は、前記底面部と接続される前面第1端部と、前記前面第1端部まで前記ケース本体の内部方向に傾斜する傾斜前面部とを有する。



WO 2017/212583 A1

SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM,
GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類：

- 一 国際調査報告（条約第21条(3)）

明 細 書

発明の名称：シガレットケース

技術分野

[0001] 本発明は、シガレットケースに関する。

背景技術

[0002] 現在、紙巻シガレットや葉巻シガレット等のシガレットは、例えば10本又は20本等の所定の本数毎にパッケージにより包装されている。このようなパッケージは、例えば、アルミ箔加工紙等の内紙と、この内紙を覆う外紙によって構成される。外紙は、ソフトパッケージと呼ばれる薄紙で形成されたものや、ハードパッケージと呼ばれる、板紙を箱型に組み立てて形成されたものが知られている（例えば、特許文献1及び特許文献2参照）。

[0003] ソフトパッケージは、軽くて持ち運びが容易であるが、一方で強度が低いので、持ち運ぶ際に収容されたシガレットが潰れたり、折れ曲がったりすることがある。このため、ソフトパッケージに収容されたシガレットを収容して保護するための、所定の剛性を有するシガレットケースも知られている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2009-292519号公報

特許文献2：特開2006-248543号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] シガレットケースは、ヒンジリッド型のものが一般的に知られている。このようなシガレットケースからシガレットを引き出すときは、蓋を開ける動作とシガレットを引き出す動作を別々に行う必要があった。

[0006] また、シガレットケースに収容されるシガレットの本数が多く、シガレットが密に収容されている場合は、シガレットケースからシガレットを取り出しにくいという問題もある。

[0007] 本発明は、上記問題に鑑みてなされたもので、その目的の一つは、シガレットが密に收容されていたとしても、容易にシガレットを取り出すことが可能なシガレットケースを提供することである。

[0008] また、本発明の他の目的の一つは、蓋の開動作とシガレットを引き出す動作を同時に行うことが可能なシガレットケースを提供することである。

[0009] 本発明は、上記目的の少なくとも一つを解決するものである。

課題を解決するための手段

[0010] 本発明の一形態によれば、シガレットケースが提供される。このシガレットケースは、ケース前面部と、ケース後面部と、ケース第1側面部と、ケース第2側面部と、ケース底面部と、を有するケースと、前記ケースに收容可能に構成され、内部にシガレットを保持可能なパッケージと、を有する。前記ケースは、前記ケース前面部と前記ケース底面部との境界部に凹部を有する。前記パッケージは、パッケージ前面部と、パッケージ上面部と、前記パッケージ前面部と前記パッケージ上面部と間に設けられる開口部と、前記パッケージ前面部と前記パッケージ上面部とを接続して前記開口部を閉止する接続部と、を有する。

[0011] この一形態によれば、ケースが、ケース前面部とケース底面部との境界部に凹部を有する。このため、ユーザがケースの凹部を押すか、ケースの側面を握る等により、ケースの凹部がケースの内部側に向かって湾曲する。また、パッケージが、パッケージ前面部とパッケージ上面部との間に設けられる開口部を有するので、パッケージの接続部を除去することで、パッケージの開口部からシガレットを取り出すことができる。ユーザがケースの凹部をケースの内部側に湾曲させると、凹部の湾曲に伴って、ケースに收容されたパッケージ内のシガレットが押し上げられ、開口部からシガレットが露出する。したがって、ユーザがケースの凹部を押し上げることで、シガレットが密に收容されている場合であっても、容易にシガレットをシガレットケースから取り出すことができる。また、パッケージの未開封時には、接続部によってシガレットの外気との接触が抑制され、接続部を除去することによってパ

ッパッケージを開封することができる。

[0012] 上記シガレットケースの一形態において、前記パッケージは、前記パッケージ前面部が前記ケース前面部側に位置するように、前記ケースに収納される。

[0013] この一形態によれば、パッケージの開口部が、ケースのケース前面部側に位置する。このため、ケースの凹部を湾曲させたときに、パッケージのパッケージ前面側、つまり開口部に近い位置に収納されたシガレットが押し上げられるので、シガレットをパッケージの開口部から容易に取り出すことができる。

[0014] 本発明の一形態において、前記接続部は除去可能に構成され、前記接続部が除去されたとき、前記開口部が開放される。

[0015] この一形態によれば、接続部を除去することにより開口部が開放され、開口部からシガレットを取り出すことができる。

[0016] 本発明の一形態において、前記凹部は、第1曲面部と、前記第1曲面部よりも前記ケース前面部側に位置する第2曲面部とを有する。

[0017] この一形態によれば、凹部が第1曲面部と第2曲面部を有する。このため、ユーザがケースの凹部を押すか、ケースの側面を握ること等により、ケースの凹部がケースの内部側に向かって湾曲するとき、まず、ケース底面部に近い第1曲面部が湾曲してシガレットを押し上げる。続いて、第1曲面部よりケース前面部側に位置する第2曲面部が湾曲する。これにより、第1曲面部が湾曲することによって押し上げられたシガレットが、第2曲面部の湾曲によりさらに押し上げられる。したがって、第1曲面部の湾曲と第2曲面部の湾曲との2段階の湾曲により、シガレットがスムーズに押し上げられるので、一層容易にシガレットをシガレットケースから取り出すことができる。

[0018] 本発明の一形態において、前記第1曲面部は、幅方向中央部における前記ケース底面部となす角度が、 35° 以上 55° 以下になるように形成され、前記第2曲面部は、幅方向中央部における前記ケース底面部となす角度が、 60° 以上 80° 以下になるように形成される。

- [0019] この一形態によれば、第1曲面部と第2曲面部の幅方向中央部が上記角度範囲に形成されることにより、シガレットをシガレットケースから容易に押し出すことができる。なお、第1曲面部が 35° 未満若しくは 55° より大きい場合、又は第2曲面部が 60° 未満若しくは 80° より大きい場合、第1曲面部又は第2曲面部をケースの内部側に向かって湾曲させるのに、大きな力を要し、操作性が悪くなる。
- [0020] 本発明の一形態において、前記凹部は、さらに、前記第2曲面部よりも前記ケース前面部側に位置する第3曲面部を有し、前記第3曲面部は、幅方向中央部における前記ケース底面部となす角度が、前記第2曲面部が幅方向中央部における前記ケース底面部となす角度よりも大きくなるように形成される。
- [0021] この一形態によれば、凹部が、第1曲面部及び第2曲面部に加えて第3曲面部を有するので、ユーザがケースの凹部を押すか、ケースの側面を握ること等により、第1曲面部、第2曲面部、及び第3曲面部がそれぞれ順番に湾曲する。これにより、シガレットをよりスムーズに押し上げることができ、容易にシガレットをシガレットケースから取り出すことができる。
- [0022] 本発明の一形態において、前記第2曲面部の幅方向長さは、前記第1曲面部の幅方向長さの20%以上80%以下である。
- [0023] この一形態によれば、第2曲面部の幅方向長さは、第1曲面部の幅方向長さの20%以上80%以下であるので、ユーザがケースの凹部を押すか、ケースの側面を握る等により、ケースの凹部がケースの内部側に向かって湾曲するとき、第1曲面部が先に湾曲し、続いて第2曲面部が湾曲し易くなる。即ち、第1曲面部の湾曲と第2曲面部の湾曲とが2段階で発生しやすくなるので、シガレットがスムーズに押し上げられ、一層容易にシガレットをシガレットケースから取り出すことができる。
- [0024] 本発明の一形態において、前記ケースは、後端部が前記ケース後面部に接続されたケース上面部と、ケース上面部の前端部から延在して前記ケース前面部の少なくとも一部に重なるフラップ部と、を有する。

- [0025] この一形態によれば、ケースが、パッケージを包み込むように構成される。また、凹部の湾曲に伴って、ケースに収容されたパッケージ内のシガレットが押し上げられたときに、押し上げられたシガレットによってフラップ部及びケース上面部が押し上げられる。これにより、フラップ部の開動作とシガレットを引き出す動作を同時に行うことができる。
- [0026] 本発明の一形態において、シガレットケースは、前記フラップ部を前記ケース前面部の少なくとも一部に重なった状態で保持する保持部材を有する。
- [0027] この一形態によれば、フラップ部がケース前面部の少なくとも一部に重なった状態で保持されるので、シガレットを収容したパッケージが不意にケースから飛び出ることを抑制することができる。
- [0028] 本発明の一形態において、前記ケースは、前記ケース前面部と、前記ケース後面部と、前記ケース第1側面部と、前記ケース第2側面部とにより画定される開口を閉止するための蓋部を有する。前記蓋部は、前記開口を覆うように構成される蓋上面部と、前記ケース前面部の少なくとも一部と重なるように構成される蓋前面部と、前記ケース第1側面部と重なるように構成される第1蓋側面部と、前記ケース第2側面部と重なるように構成される第2蓋側面部と、を有する。
- [0029] この一形態によれば、ケースが、パッケージを包み込むように構成される。また、凹部の湾曲に伴って、ケースに収容されたパッケージ内のシガレットが押し上げられたときに、押し上げられたシガレットによって蓋部が押し上げられる。これにより、蓋部の開動作とシガレットを引き出す動作を同時に行うことができる。
- [0030] 本発明の一形態において、前記ケース前面部、前記ケース後面部、前記ケース第1側面部、及び前記ケース第2側面部の少なくとも1つは、前記ケース底面部の法線方向に対して1°以上2°以下の角度で前記ケースの外側に向かって傾斜する。
- [0031] この一形態によれば、ケースが、上方に向かって幅が広がるように構成されるので、ケースへのパッケージの出し入れ及びシガレットの取り出しが

容易になる。また、例えばケースが射出成型品である場合には、上記角度の傾斜部分が適切な抜き勾配となるので、ケースの生産を容易に行うことができる。なお、上記角度が 1° 未満である場合、ケースへのパッケージの出し入れ及びシガレットの取り出しがし難くなる。また、上記角度が 2° より大きい場合、ケース上端の幅が余分に大きくなるという問題がある。

[0032] 本発明の一形態において、前記ケースは、ケース上面部を有し、前記ケース底面部と前記ケース上面部との間の長さが、84mm以下である。

[0033] 上述したように、本ケースに収納されるパッケージは、パッケージ前面部とパッケージ上面部との間に開口部を有する特徴的なものである。したがって、パッケージ前面部とパッケージ上面部との間に開口部を備えない一般的なシガレットパッケージを本ケースに収納した場合、ユーザがケースの凹部を押し上げてシガレットがシガレットケースから押し出されない。本特許出願時点において、市場で一般に流通しているシガレットケースの長さは約89mmである。この一形態によれば、ケースの長さが、一般に流通しているシガレットケースよりも約5%短いので、このケースは、一般に流通しているシガレットケースに詰替える一般的なシガレットパッケージが適切に収容できないように構成される。これにより、ユーザが誤って、本シガレットケースで使用可能なパッケージとは異なるパッケージ、即ち通常の長さを有するパッケージをケースに収納してしまうことを抑制することができる。

[0034] 本発明の一形態において、前記ケースの前記ケース前面部、前記ケース後面部、前記ケース第1側面部、及び前記ケース第2側面部の最小内周は、150mm以下である。

[0035] 上述したように、本ケースに収納されるパッケージは、パッケージ前面部とパッケージ上面部との間に開口部を有する特徴的なものである。したがって、パッケージ前面部とパッケージ上面部との間に開口部を備えない一般的なシガレットパッケージを本ケースに収納した場合、ユーザがケースの凹部を押し上げてシガレットがシガレットケースから押し出されない。本特許出願時点において、市場で一般に流通しているシガレットケースの内周は約

171mmである。この一形態によれば、ケースの内周の長さが、一般に流通しているシガレットケースよりも約5%以上短いので、このケースは、一般に流通しているシガレットケースに詰替える一般的なシガレットパッケージが適切に収容できないように構成される。これにより、ユーザが誤って、本シガレットケースで使用可能なパッケージとは異なるパッケージ、即ち通常の内周長さを有するパッケージをケースに収納してしまうことを抑制することができる。

[0036] 本発明の一形態において、前記ケース底面部は、前記凹部を介して前記ケース前面部に接続されるケース底面第1端部と、前記後面部に接続されるケース底面第2端部と、前記ケース第1側面部に接続されるケース底面第1側部と、前記第2側面部に接続されるケース底面第2側部と、を有し、前記ケース底面第1端部の中央部における前記ケース底面第1端部と前記ケース底面第2端部との間の距離は、前記ケース底面第1側部又はケース前記底面第2側部の長さよりも短い。

[0037] この一形態によれば、ケース底面部の幅方向略中央部における、ケース底面第1端部とケース底面第2端部との間の距離が相対的に短くなる。このため、ユーザがケースの凹部を押すか、ケースの側面を握ったときに、ケース底面部の幅方向略中央部が、ケースの内側に向かって湾曲しやすくなる。ひいては、収容されているパッケージ内のシガレットのうち、幅方向略中央部に位置するシガレットが押し上げられやすくなるので、ユーザがシガレットを取り出しやすくなる。

[0038] 本発明の一形態において、前記ケースは、可撓性部材から形成される。

[0039] この一形態によれば、ユーザがケースの凹部を押すか、ケースの側面を握ったときに、ケースの凹部がケースの内部側に向かって湾曲し易くなる。

[0040] 本発明の一形態において、前記パッケージは、ガスバリア性のシート材から形成される。

[0041] この一形態によれば、パッケージに保持されたシガレットが吸湿することを抑制することができる。

発明の効果

[0042] 本発明の一つによれば、シガレットが密に收容されていたとしても、容易にシガレットを取り出すことが可能なシガレットケースを提供することができる。

[0043] 本発明の他の一つによれば、蓋の開動作とシガレットを引き出す動作を同時に行うことが可能なシガレットケースを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0044] [図1]ケースの前面側からの上斜視図である。

[図2]ケースの前面側からの下斜視図である。

[図3]ケースの後面側からの下斜視図である。

[図4]ケースの正面図である。

[図5]パッケージの前面側からの上斜視図である。

[図6]パッケージの後面側からの上斜視図である。

[図7]パッケージの前面側からの下斜視図である。

[図8]パッケージの前面側からの上斜視図である。

[図9]第1折り返し部及び第2折り返し部を切り取った状態のパッケージ20を示す図である。

[図10]パッケージの展開図である。

[図11]パッケージを収納したケースを示す正面図である。

[図12]パッケージを収納したケースを示す正面図である。

[図13]他の実施形態に係るケースを示す正面図である。

発明を実施するための形態

[0045] 以下、本発明の実施形態について図面を参照して説明する。以下で説明する図面において、同一の又は相当する構成要素には、同一の符号を付して重複した説明を省略する。なお、以下で説明する図のいくつかには、X、Y、Z軸が付記されている。これらの図においては、X軸正方向が前方向、X軸負方向が後方向、Y軸正方向が左方向、Y軸負方向が右方向、Z軸正方向が上方向、Z軸負方向が下方向に、それぞれ相当するものとして説明する。ま

た、本実施形態において、「幅方向」とはY軸方向を意味し、「厚さ方向」とはX軸方向を意味し、するものとして説明する。

[0046] 本実施形態に係るシガレットケースは、ケースと、このケースに収容可能に構成され、内部にシガレットを保持するパッケージとを有する。まず、ケースについて詳細に説明する。図1から図3は、本実施形態に係るケースの斜視図である。図1はケースの前面側からの上斜視図であり、図2はケースの前面側からの下斜視図であり、図3はケースの後面側からの下斜視図である。また、図4は、ケースの正面図である。このケースは、後述するパッケージを内部に収容するように構成される。

[0047] 図1から図4に示すように、ケース100は、全体として略直方体形状を有する。ケース100は、後述するパッケージ20（図5から図10参照）に包装されたシガレットを収容することにより、容易にケース100にシガレットを詰め替えることができ、繰り返し使用され得る。ケース100は、シガレットを収容するための空間を有するケース本体130と、この空間を閉止するための蓋部120とを有する。ケース本体130と蓋部120とは、ケース100の後面側のヒンジ部127により連結される。即ち、このケース100は、ヒンジリッド型のケースである。ケース100は、その形状が変形可能なように、例えば、樹脂、シリコン、革、紙等の可撓性の部材から形成され得る。

[0048] ケース本体130は、前面部140（ケース前面部の一例に相当する）と、前面部140に対向する後面部150（ケース後面部の一例に相当する）と、左側面部160（ケース第1側面部の一例に相当する）と、左側面部160に対向する右側面部170（ケース第2側面部の一例に相当する）と、底面部180（ケース底面部の一例に相当する）と、を有する。ケース本体130は、前面部140と、左側面部160と、後面部150と、右側面部170とによって画定される開口128（図12参照）を有する。開口128は、蓋部120によって閉止され得る。

[0049] また、ケース本体130は、前面部140と底面部180との境界部に設

けられた凹部190を有する。凹部190は、ケース本体130の内部に向かって、この凹部190が凹むように形成される。ここで、「ケース本体130の内部」とは、ケース本体130により画定されるパッケージを収容するための空間をいう。この凹部190は、底面部180側に位置する第1曲面部191と、第1曲面部191よりも前面部140側に位置する第2曲面部192とを有する。図2及び図4に特に示されるように、第1曲面部191及び第2曲面部192は、幅方向に湾曲するように形成される。ケース本体130が凹部190を有することにより、ユーザがケース100の凹部190を押すか、ケース100の側面を握る等により、ケース100の凹部190がケース本体130の内部に向かって湾曲し易くなる。凹部190がこのように変形することで、図12に関連して後述するように、ケース100に収容されたパッケージ内のシガレットが押し上げられる。

[0050] 一実施例においては、この第1曲面部191は、幅方向中央部における底面部180となす角度 $\theta 1$ （図2参照）が、 35° 以上 55° 以下になるように形成され得る。また、一実施例においては、第2曲面部192は、幅方向中央部における底面部180となす角度 $\theta 2$ （図2参照）が、 60° 以上 80° 以下になるように形成され得る。なお、図2に示すように、角度 $\theta 1$ は、底面部180の外表面と第1曲面部191の外表面とで形成される角度であり、角度 $\theta 2$ は、底面部180の外表面と第2曲面部192の外表面とで形成される角度である。また、一実施例においては、第2曲面部192の幅方向長さは、第1曲面部191の幅方向長さの20%以上80%以下になるように形成され得る。なお、凹部190は、単一の曲面部のみから形成されてもよいし、3つ以上の曲面部を有してもよい。例えば、凹部190が第3曲面部を有する場合、第3曲面部は、第2曲面部192よりも前面部140側に位置し、幅方向中央部における底面部180の外側面となす角度が、第2曲面部192が幅方向中央部における底面部180の外側面となす角度よりも大きくなるように形成されること、及び第2曲面部192の幅方向の長さよりも小さいことが好ましい。

- [0051] 前面部140は、凹部190と接続される前面第1端部141と、左側面部160と接続される第1側端部142と、右側面部170と接続される第2側端部143とを有する。前面第1端部141は、前面部140の下端に位置する。
- [0052] 図2及び図3に示すように、底面部180は、凹部190に接続される底面第1端部181と、後面部150に接続される底面第2端部182と、左側面部160に接続される底面第1側部183と、右側面部170に接続される底面第2側部184とを有する。底面部180は、その幅方向略中央部の長さが、底面第1側部183又は底面第2側部184の長さよりも短く形成される。即ち、底面第1端部181又は底面第2端部182の略中央部における底面第1端部181と底面第2端部182との間の距離L1は、底面第1側部183又は底面第2側部184の長さよりも短く形成される。言い換えれば、少なくとも底面第1端部181は、略中央部における底面第1端部181と底面第2端部182との距離が相対的に近くなるように、凹状に形成される。これにより、ユーザがケース100の凹部を押すか、ケース100の側面を握ったときに、底面部180の幅方向略中央部が、ケース100の内側に向かって湾曲しやすくなる。ひいては、収容されているパッケージ内のシガレットのうち、幅方向略中央部に位置するシガレットが押し上げられやすくなるので、ユーザがシガレットを取り出しやすくなる。
- [0053] 図3に示すように、後面部150は、底面部180と接続される後面第1端部151と、後面第1端部151と対向する後面第2端部155と、左側面部160と接続される第1側端部152と、右側面部170と接続される第2側端部153とを有する。後面第1端部151は、後面部150の下端に位置し、後面第2端部155は、後面部150の上端に位置する。後面第2端部155は、ケース本体130と蓋部120とを連結するヒンジ部127を形成する。
- [0054] 図1から図3に示すように、蓋部120は、後端部が後面部150の後面第2端部155と接続された上面部121と、上面部121の前端部122

から延在するフラップ部123と、を有する。上面部121は、蓋部120を閉じたときに、開口128（図12参照）の上方を覆うように構成される。また、フラップ部123は、蓋部120を閉じたときに、開口128の一部を覆い、前面部140の少なくとも一部に重なるように構成される。

[0055] 前面部140のフラップ部123と重なる部分には、マグネット145が設けられる。また、フラップ部123には、マグネット145と引き付け合うマグネット124が設けられる。したがって、蓋部120を閉じたとき、フラップ部123のマグネット124と、前面部140のマグネット145は、フラップ部123を前面部140の少なくとも一部に重なった状態で保持することができる。なお、本実施形態では、マグネット145とマグネット124を用いているが、いずれか一方のみをマグネットとし、他方を金属等の強磁性体としてもよい。また、フラップ部123を前面部140に重なった状態で保持する機能を有する材料として、マグネット124、145に代えて、マジックテープ（登録商標）、再接着可能な粘着剤、フック等を使用することもできる。

[0056] 図1から図4に示すケース100では、前面部140、後面部150、左側面部160、及び右側面部170の少なくとも1つは、底面部180の法線方向に対して1°以上2°以下の角度でケース本体130の外側に向かって傾斜する。これにより、ケース100が上方に向かって幅が広がるように構成されるので、ケース100へのパッケージの出し入れ及びシガレットの取り出しが容易になる。また、例えばケース100が射出成型品である場合には、上記角度の傾斜部分が適切な抜き勾配となるので、ケース100の生産を容易に行うことができる。なお、上記角度が1°未満である場合、ケース100へのパッケージの出し入れ及びシガレットの取り出しがし難くなる。また、上記角度が2°より大きい場合、ケース100上端の幅が余分に大きくなるという問題がある。

[0057] 図1から図4に示したケース100に関して、蓋部120が上面部121とフラップ部123から構成されるものとして説明した。しかしながら、蓋

部120の形態はこれには限られず、前面部140と、後面部150と、左側面部160、及び右側面部170により画定される開口128を閉止できる形態を採ることができる。例えば、他の形態として、蓋部120は、開口128を覆うように構成される蓋上面部と、前面部140の少なくとも一部と重なるように構成される蓋前面部と、左側面部160と重なるように構成される第1蓋側面部と、右側面部170と重なるように構成される第2蓋側面部と、を有する、カップ状の蓋であってもよい。

[0058] 次に、ケース100に收容可能に構成され、内部にシガレットを保持するパッケージについて説明する。図5は、パッケージの前面側からの上斜視図である。図6は、パッケージの後面側からの上斜視図である。図7は、パッケージの前面側からの下斜視図である。図8は、パッケージの前面側からの上斜視図である。

[0059] 図5から図7に示すように、パッケージ20は、略直方体形状であり、その内部にシガレット等の被包装物を保持可能に構成される。パッケージ20は、ポリプロピレン（PP）又はポリエチレンテレフタレート（PET）等のプラスチックフィルム、ガスバリア性のシート材を貼り合わせた紙、ガスバリア性のシート材を貼り合わせた布等の可撓性を有するガスバリア性のシート材から形成され得る。一実施例では、パッケージ20は、ガスバリア性のシート材と紙との貼り合わせシートから形成され得る。

[0060] 一実施例では、パッケージ20は、単位面積当たりの重量が 50 g/m^2 以上 150 g/m^2 以下の紙材から形成され得る。また、一実施例では、パッケージ20は、単位面積当たりの重量が 0.01 g/m^2 以上 0.5 g/m^2 以下のプラスチックフィルム材から形成され得る。

[0061] また、一実施例では、パッケージ20は、 $12\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $500\text{ }\mu\text{m}$ 以下の厚さを有するシート材から形成され得る。具体的には、パッケージ20が紙材から形成される場合は、 $50\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $500\text{ }\mu\text{m}$ 以下の厚さを有し、パッケージ20がプラスチックフィルム材から形成される場合は、 $12\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $500\text{ }\mu\text{m}$ 以下の厚さを有する。

- [0062] パッケージ20は、前面部22（パッケージ前面部の一例に相当する）と、前面部22と対向する後面部23と、上面部21（パッケージ上面部の一例に相当する）と、上面部21と対向する底面部24と、第1側面部29aと、第1側面部29aと対向する第2側面部29bとを有する。
- [0063] 上面部21は、後面部23と、第1側面部29aと、第2側面部29bと接続される。底面部24は、前面部22と、後面部23と、第1側面部29aと、第2側面部29bと接続される。第1側面部29aは、さらに前面部22と、後面部23と接続される。第2側面部29bは、さらに前面部22と、後面部23と接続される。即ち、前面部22と上面部21との間を除いて、各面は互いに接続される。前面部22と上面部21の間には、後述する開口部36（図9参照）が形成される。開口部36から被包装物が出し入れされ得る。
- [0064] 第1側面部29aは、前面部22から延在する前面側第1側面部22aと、後面部23から延在する後面側第1側面部23aと、上面部21から延在する上面側第1側面部21aと、底面部24から延在する底面側第1側面部24aと、を有する。前面側第1側面部22aは、後面側第1側面部23aと、上面側第1側面部21aと、底面側第1側面部24aに例えばヒートシールにより密着され、第1側面シール部31が形成される。
- [0065] 第2側面部29bは、前面部22から延在する前面側第2側面部22bと、後面部23から延在する後面側第2側面部23bと、上面部21から延在する上面側第2側面部21bと、底面部24から延在する底面側第2側面部24bとを有する。前面側第2側面部22bは、後面側第2側面部23bと、上面側第2側面部21bと、底面側第2側面部24bに例えばヒートシールにより密着され、第2側面シール部32が形成される。
- [0066] パッケージ20は、さらに、上面部21の前端部21cから延在する第1折り返し中央部27cと、上面側第1側面部21aの上端部から延在する第1折り返し第1側面部27aと、上面側第2側面部21bの上端部から延在する第2折り返し第2側面部27bと、を有する。第1折り返し中央部27

cと、第1折り返し第1側面部27aと、第1折り返し第2側面部27bとにより、第1折り返し部27が形成される。

[0067] 第1折り返し第1側面部27aは、第1折り返し中央部27cと接続される。即ち、第1折り返し第1側面部27aは、第1折り返し中央部27cから延在して形成される。同様に、第1折り返し第2側面部27bは、第1折り返し中央部27cと接続される。即ち、第1折り返し第2側面部27bは、第1折り返し中央部27cから延在して形成される。

[0068] 一実施例としては、第1折り返し第1側面部27aは、前面側第1側面部22aの上端又は後面側第1側面部23aの上端から延在するように構成することもできる。また、一実施例としては、第1折り返し第2側面部27bは、前面側第2側面部22bの上端又は後面側第2側面部23bの上端から延在するように構成することもできる。

[0069] 図8に示すように、パッケージ20は、さらに、前面部22の上端部22cから延在する第2折り返し中央部28cと、前面側第1側面部22aの上端部22dから延在する第2折り返し第1側面部28aと、前面側第2側面部22bの上端部22eから延在する第2折り返し第2側面部28bと、を有する。第2折り返し中央部28cと、第2折り返し第1側面部28aと、第2折り返し第2側面部28bとにより、第2折り返し部28が形成される。

[0070] 第2折り返し第1側面部28aは、第2折り返し中央部28cと接続される。即ち、第2折り返し第1側面部28aは、第2折り返し中央部28cから延在して形成される。同様に、第2折り返し第2側面部28bは、第2折り返し中央部28cと接続される。即ち、第2折り返し第2側面部28bは、第2折り返し中央部28cから延在して形成される。

[0071] 一実施例としては、第2折り返し第1側面部28aは、上面側第1側面部21aの上端又は後面側第1側面部23aの上端から延在するように構成することもできる。また、一実施例としては、第2折り返し第2側面部28bは、上面側第2側面部21bの上端又は後面側第2側面部23bの上端から

延在するように構成することもできる。

[0072] 図5から図8に示すように、第1折り返し第1側面部27aの側方端部が、第2折り返し第1側面部28aの側方端部に、例えばヒートシールにより密着され、第1側方端部シール部33が形成される。同様に、第1折り返し第2側面部27bの側方端部が、第2折り返し第2側面部28bの側方端部に、例えばヒートシールにより密着され、第2側方端部シール部34が形成される。

[0073] 図5に示される第1折り返し中央部27cの端部と、図8に示される第2折り返し中央部28cの端部とが、例えばヒートシールにより密着される。また、図5に示される第1折り返し第1側面部27aの端部と、図8に示される第2折り返し第1側面部28aの端部とが、例えばヒートシールにより密着される。さらに、図6に示される第1折り返し第2側面部27bの端部と、図8に示される第2折り返し第2側面部28bの端部とが、例えばヒートシールにより密着される。これにより、端部シール部35が形成され、前面部22と上面部21との間に形成される後述する開口部36（図9参照）が、端部シール部35、第1側方端部シール部33、及び第2側方端部シール部34により密閉される。したがって、パッケージ20の内部が密閉され、シガレット等の被包装物への臭いの付着や、シガレットの吸湿等を防止することができる。

[0074] 第1側方端部シール部33又は第2側方端部シール部34には、図示しない切れ目又はマジックカット（登録商標）等が設けられる。第1側方端部シール部33又は第2側方端部シール部34に設けられる切れ目又はマジックカット（登録商標）の部分から端部シール部35に沿って、第1折り返し部27及び第2折り返し部28の一部が、パッケージ20から切り取られることにより、パッケージ20が開封される。好ましくは、第1折り返し部27及び第2折り返し部28は、図8に示す上端部22e、上端部22c、及び上端部22dに沿って切り取られる。したがって、第1折り返し部27及び第2折り返し部28は、前面部22と上面部21とを接続して開口部36（

図9)を閉止する接続部を構成している。なお、この接続部を設けず、開口部36(図9)が予め開放されていてもよい。この場合は、開口部36からパッケージ20の内部に外気が流入し難いように、開口部39をシール等で塞ぐようにすることが好ましい。

[0075] 図9は、第1折り返し部27及び第2折り返し部28を切り取った状態のパッケージ20を示す図である。図示の例では、第1折り返し部27及び第2折り返し部28は、図8に示す上端部22e、上端部22c、及び上端部22dに沿って除去されている。図示のように、パッケージ20から第1折り返し部27及び第2折り返し部28が除去されたとき、開口部36が開放される。これにより、ユーザは開口部36から被包装物を取り出すことができる。

[0076] 次に、パッケージ20の製造方法について、パッケージ20の展開図を参照して説明する。図10は、パッケージ20の展開図である。図10に示すように、パッケージ20は、略長方形の一枚のシート材から形成され得る。

[0077] シガレット等の被包装物を包装するパッケージ20を製造するときは、まず、被包装物の前面と、底面と、後面と、上面とを、それぞれ、略矩形のシート材の前面部22と、底面部24と、後面部23と、上面部21とで覆う。続いて、底面側第1側面部24aを被包装物の第1側面に対して折り返し、被包装物の第1側面の少なくとも一部を覆う。同様に、底面側第2側面部24bを被包装物の第2側面に対して折り返し、被包装物の第2側面の少なくとも一部を覆う。

[0078] 続いて、上面側第1側面部21aを被包装物の第1側面に対して折り返し、被包装物の第1側面の少なくとも一部を覆う。同様に、上面側第2側面部21bを被包装物の第2側面に対して折り返し、被包装物の第2側面の少なくとも一部を覆う。さらに、前面側第1側面部22aを、底面側第1側面部24a、後面側第1側面部23a、及び上面側第1側面部21aに、例えばヒートシールにより密着させる。この密着された部分は、第1側面シール部31に相当する。同様に、前面側第2側面部22bを、底面側第2側面部2

4 b、後面側第2側面部23 b、及び上面側第2側面部21 bに、例えばヒートシールにより密着させる。この密着された部分は、第2側面シール部32に相当する。

[0079] 続いて、第1折り返し中央部27 cから延在し且つ上面側第1側面部21 aから延在する第1折り返し第1側面部27 aの側方端部を、第2折り返し中央部28 cから延在し且つ前面側第1側面部22 aから延在する第2折り返し第1側面部28 aの側方端部に、例えばヒートシールにより密着させる。この密着された部分は、第1側方端部シール部33に相当する。

[0080] 同様に、第1折り返し中央部27 cから延在し且つ上面側第2側面部21 bから延在する第1折り返し第2側面部27 bの側方端部を、第2折り返し中央部28 cから延在し且つ前面側第2側面部22 bから延在する第2折り返し第2側面部28 bの側方端部に、例えばヒートシールにより密着させる。この密着された部分は、第2側方端部シール部34に相当する。

[0081] 最後に、第1折り返し中央部27 cと、第1折り返し第1側面部27 aと、第1折り返し第2側面部27 bとのそれぞれの端部を、第2折り返し中央部28 cと、第2折り返し第1側面部28 aと、第2折り返し第2側面部28 bとのそれぞれの端部に、例えばヒートシールにより密着させる。この密着された部分は、端部シール部35（図5から図8参照）に相当する。

[0082] 以上のようにして、一枚の略矩形のシート材から、シート材を切り貼り等する必要なく、被包装物を密封して包装可能なパッケージ20を製造することができる。即ち、パッケージ20は、省資源且つ低コストで製造することができる。

[0083] 続いて、上述したケース100とパッケージ20とを有する本実施形態のシガレットケースの使用方法及び機能について説明する。図11及び図12は、パッケージ20を収納したケース100を示す正面図である。具体的には、図11は、蓋部120が閉じた状態を示し、図12は、蓋部120が開いた状態を示す。

[0084] 図11に示すように、パッケージ20は、ケース100の内部に収納され

る。図示の例では、パッケージの第1折り返し部27及び第2折り返し部28が切り取られ、開口部36が開放されている。本実施形態では、パッケージ20は、前面部22がケース100の前面部140と対向するように、ケース100に収納される。これにより、パッケージ20の開口部36が、ケース100の前面部140側に位置する。このため、ケース100の凹部190を湾曲させたときに、パッケージ20の前面部22側、つまり開口部36に近い位置に収納されたシガレット40が押し上げられるので、シガレット40をパッケージ20の開口部36から容易に取り出すことができる。

[0085] ケース100は、通常時は、蓋部120が閉じている。このとき、フラップ部123のマグネット124は、前面部140のマグネット145と引き付け合い、フラップ部123が前面部140の少なくとも一部に重なった状態が保持される。これにより、ケース100内部に收容されているパッケージ20及びパッケージ20の内容物が不意に外に飛び出ること、及び内容物が空気に触れることを抑制している。

[0086] ケース100からシガレット40を取り出すときは、ユーザは、ケース本体130の凹部190を図12に示す矢印A1の方向に押し上げるか、左側面部160及び右側面部170の下部を握り、図12に示す矢印A2及びA3の方向に力を加える。ケース100は、前面部140と底面部180との境界部に凹部190を有しているため、ユーザが凹部190を押すか、ケース100の側面を握ることで、凹部190がケース100の内部側に向かって湾曲する。これに伴い、図12に示すように、凹部190及び底面部180が矢印A3で示す方向に押し上げられて容易に湾曲し、ケース100に收容されたシガレット40が凹部190及び底面部180によって押し上げられる。凹部190及び底面部180によって押し上げられたシガレット40は、フラップ部123のマグネット124と前面部140のマグネット145とが互いに引き付け合う磁力に対抗して、蓋部120を押し上げる。したがって、本実施形態に係るケース100は、蓋の開動作とシガレット40を引き出す動作を同時に行うことができる。また、シガレット40がケース1

00に密に收容されていたとしても、シガレット40が凹部190及び底面部180によって押し上げられるので、容易にシガレット40を取り出すことができる。

[0087] また、凹部190は、第1曲面部191と第2曲面部192とを有するので、ユーザがケース100の凹部190を押すか、ケース100の側面を握る等により、ケース100の凹部190がケース100の内部側に向かって湾曲するとき、まず、第1曲面部191が湾曲してシガレット40を押し上げる。続いて、第1曲面部191より前面部140側に位置する第2曲面部192が湾曲する。これにより、第1曲面部191が湾曲することによって押し上げられたシガレット40が第2曲面部192の湾曲によりさらに押し上げられる。したがって、第1曲面部191の湾曲と第2曲面部192の湾曲との2段階の湾曲により、シガレット40がスムーズに押し上げられるので、一層容易にシガレット40をシガレットケースから取り出すことができる。

[0088] また、第1曲面部191が、幅方向中央部においてケース100の底面部180となす角度が 35° 以上 55° 以下であり、第2曲面部192が、幅方向中央部においてケース100の底面部180となす角度が 60° 以上 80° 以下である場合は、シガレット40をシガレットケースから一層容易に押し出すことができる。第1曲面部191が 35° 未満又は 55° より大きい場合、及び第2曲面部192が 60° 未満又は 80° より大きい場合、第1曲面部191又は第2曲面部192をケース100の内部側に向かって湾曲させるのに、大きな力を要し、操作性が悪くなる。

[0089] ここで、第2曲面部192の幅方向長さが、第1曲面部191の幅方向長さの20%以上80%以下である場合は、ユーザがケース100の凹部190を押すか、ケース100の側面を握る等により、ケース100の凹部190がケース100の内部側に向かって湾曲するとき、第1曲面部191が先に湾曲し、続いて第2曲面部192が湾曲し易くなる。即ち、第1曲面部191の湾曲と第2曲面部192の湾曲とが2段階で発生しやすくなるので、

シガレット40がスムーズに押し上げられ、一層容易にシガレット40をシガレットケースから取り出すことができる。

[0090] 加えて、図2において説明したように、底面第1端部181と底面第2端部182との間の距離L1が、底面第1側部183又は底面第2側部184の長さよりも短く形成されている。このため、ユーザがケース100の凹部190を押すか、ケース100の側面を握ったときに、底面部180の幅方向略中央部が、ケース100の内側に向かって湾曲しやすくなる。ひいては、パッケージ20内のシガレット40のうち、幅方向略中央部に位置するシガレット40が押し上げられ易くなるので、ユーザがシガレット40を取り出しやすくなる。

[0091] また、ケース100が樹脂、シリコン、革、紙等の可撓性部材から形成されるので、ユーザがケース100の凹部190を押すか、ケース100の側面を握ったときに、ケース100の凹部190がケース100の内部側に向かって湾曲し易くなる。

[0092] 次に、他の実施形態に係るケースについて説明する。図13は、他の実施形態に係るケースを示す正面図である。図13に、3つのケース100、101、102が示されている。ケース100は、図1から4で説明したケース100であり、比較のために図13に示されている。ケース101は、ケース100に比べて、前面部、後面部、右側面部、及び左側面部の内周が小さく形成されている。具体的には、ケース101の前面部、後面部、右側面部、及び左側面部の最小内周は、約150mm以下とすることが好ましい。なお、ケース101は、ケース100に比べて、前面部及び後面部の周方向長さのみを短くしてもよいし、右側面部及び左側面部の周方向長さのみを短くしてもよいし、前面部、後面部、右側面部、及び左側面部全ての周方向長さを短くしてもよい。パッケージ20は、このケース101に収容可能なサイズに構成することができる。

[0093] 上述したように、パッケージ20は、前面部22と上面部21との間に開口部36を有する特徴的なものである。したがって、前面部22と上面部2

1との間に開口部36を備えない一般的なシガレットパッケージをケース100に収納した場合、ユーザがケース101の凹部を押し上げてシガレットがケース101から押し出されない。本特許出願時点において、市場で一般に流通しているシガレットケースの内周は約171mmである。このケース101では、内周の長さが、一般に流通しているシガレットケースよりも約5%以上短いので、このケース101は、一般に流通しているシガレットケースに詰替える一般的なシガレットパッケージが適切に収容できないように構成されている。これにより、ユーザが誤って、ケース101で使用可能なパッケージとは異なるパッケージ、即ち通常の内周長さを有するパッケージをケース101に収納してしまうことを抑制することができる。

[0094] また、ケース102は、ケース100に比べて、上面部と底面部との間の長さが小さく形成されている。具体的には、ケース102の上面部と底面部との間の長さは、約84mm以下とすることが好ましい。パッケージ20は、このケース102に収容可能なサイズに構成することができる。

[0095] 上述したように、パッケージ20は、前面部22と上面部21との間に開口部36を有する特徴的なものである。したがって、前面部22と上面部21との間に開口部36を備えない一般的なシガレットパッケージをケース100に収納した場合、ユーザがケース101の凹部を押し上げてシガレットがケース101から押し出されない。本特許出願時点において、市場で一般に流通しているシガレットケースの長さは約89mmである。このケース102では、その長さが、一般に流通しているシガレットケースよりも約5%以上短いので、このケース102は、一般に流通しているシガレットケースに詰替える一般的なシガレットパッケージが適切に収容できないように構成される。これにより、ユーザが誤って、ケース102で使用可能なパッケージとは異なるパッケージ、即ち通常の高さを有するパッケージをケース102に収納してしまうことを抑制することができる。

[0096] 以上に本発明の実施形態を説明したが、本発明は上記実施形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲、及び明細書と図面に記載された技術的思

想の範囲内において種々の変形が可能である。なお直接明細書及び図面に記載のない何れの形状や材質であっても、本願発明の作用・効果を奏する以上、本願発明の技術的思想の範囲内である。

符号の説明

- [0097] 20…パッケージ
- 21…上面部
- 22…前面部
- 23…背面部
- 23 a…背面側第1側面部
- 23 b…背面側第2側面部
- 24…底面部
- 24 a…底面側第1側面部
- 24 b…底面側第2側面部
- 27…第1折り返し部
- 28…第2折り返し部
- 36…開口部
- 100…ケース
- 120…蓋部
- 123…フラップ部
- 124…マグネット
- 140…前面部
- 150…後面部
- 160…左側面部
- 170…右側面部
- 180…底面部
- 190…凹部
- 191…第1曲面部
- 192…第2曲面部

請求の範囲

- [請求項1] ケース前面部と、ケース後面部と、ケース第1側面部と、ケース第2側面部と、ケース底面部と、を有するケースと、
前記ケースに收容可能に構成され、内部にシガレットを保持可能なパッケージと、を有し、
前記ケースは、前記ケース前面部と前記ケース底面部との境界部に凹部を有し、
前記パッケージは、パッケージ前面部と、パッケージ上面部と、前記パッケージ前面部と前記パッケージ上面部と間に設けられる開口部と、前記パッケージ前面部と前記パッケージ上面部とを接続して前記開口部を閉止する接続部と、を有する、シガレットケース。
- [請求項2] 請求項1に記載されたシガレットケースにおいて、
前記パッケージは、前記パッケージ前面部が前記ケース前面部側に位置するように、前記ケースに収納される、シガレットケース。
- [請求項3] 請求項1又は2に記載されたシガレットケースにおいて、
前記接続部は除去可能に構成され、
前記接続部が除去されたとき、前記開口部が開放される、シガレットケース。
- [請求項4] 請求項1から3のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、
前記凹部は、第1曲面部と、前記第1曲面部よりも前記ケース前面部側に位置する第2曲面部とを有する、シガレットケース。
- [請求項5] 請求項4に記載されたシガレットケースにおいて、
前記第1曲面部は、幅方向中央部における前記ケース底面部となす角度が、 35° 以上 55° 以下になるように形成され、
前記第2曲面部は、幅方向中央部における前記ケース底面部となす角度が、 60° 以上 80° 以下になるように形成される、シガレットケース。

- [請求項6] 請求項4又は5に記載されたシガレットケースにおいて、
前記凹部は、さらに、前記第2曲面部よりも前記ケース前面部側に位置する第3曲面部を有し、
前記第3曲面部は、幅方向中央部における前記ケース底面部となす角度が、前記第2曲面部が幅方向中央部における前記ケース底面部となす角度よりも大きくなるように形成される、シガレットケース。
- [請求項7] 請求項4から6のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、
前記第2曲面部の幅方向長さは、前記第1曲面部の幅方向長さの20%以上80%以下である、シガレットケース。
- [請求項8] 請求項1から7のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、
前記ケースは、後端部が前記ケース後面部に接続されたケース上面部と、ケース上面部の前端部から延在して前記ケース前面部の少なくとも一部に重なるフラップ部と、を有する、シガレットケース。
- [請求項9] 請求項8に記載されたシガレットケースにおいて、
前記フラップ部を前記ケース前面部の少なくとも一部に重なった状態で保持する保持部材を有する、シガレットケース。
- [請求項10] 請求項1から7のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、
前記ケースは、前記ケース前面部と、前記ケース後面部と、前記ケース第1側面部と、前記ケース第2側面部とにより画定される開口を閉止するための蓋部を有し、
前記蓋部は、
前記開口を覆うように構成される蓋上面部と、
前記ケース前面部の少なくとも一部と重なるように構成される蓋前面部と、
前記ケース第1側面部と重なるように構成される第1蓋側面部と

、
前記ケース第2側面部と重なるように構成される第2蓋側面部と、を有する、シガレットケース。

[請求項11] 請求項1から10のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、

前記ケース前面部、前記ケース後面部、前記ケース第1側面部、及び前記ケース第2側面部の少なくとも1つは、前記ケース底面部の法線方向に対して 1° 以上 2° 以下の角度で前記ケースの外側に向かって傾斜する、シガレットケース。

[請求項12] 請求項1から11のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、

前記ケースは、ケース上面部を有し、前記ケース底面部と前記ケース上面部との間の長さが、84mm以下である、シガレットケース。

[請求項13] 請求項1から12のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、

前記ケースの前記ケース前面部、前記ケース後面部、前記ケース第1側面部、及び前記ケース第2側面部の最小内周は、150mm以下である、シガレットケース。

[請求項14] 請求項1から13のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、

前記ケース底面部は、前記凹部を介して前記ケース前面部に接続されるケース底面第1端部と、前記後面部に接続されるケース底面第2端部と、前記ケース第1側面部に接続されるケース底面第1側部と、前記第2側面部に接続されるケース底面第2側部と、を有し、

前記ケース底面第1端部の中央部における前記ケース底面第1端部と前記ケース底面第2端部との間の距離は、前記ケース底面第1側部又はケース前記底面第2側部の長さよりも短い、シガレットケース。

[請求項15] 請求項1から14のいずれか一項に記載されたシガレットケースに

において、

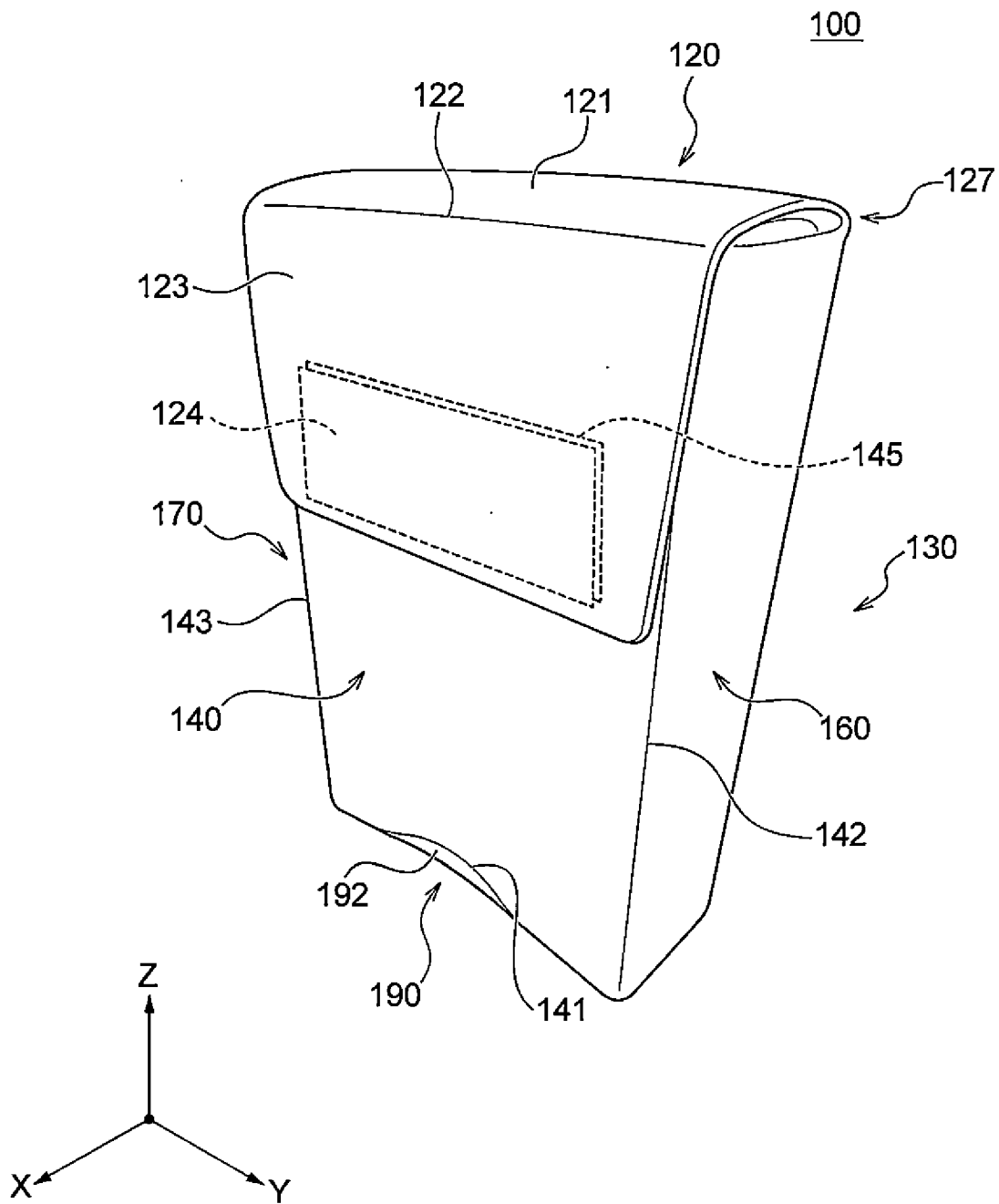
前記ケースは、可撓性部材から形成される、シガレットケース。

[請求項16]

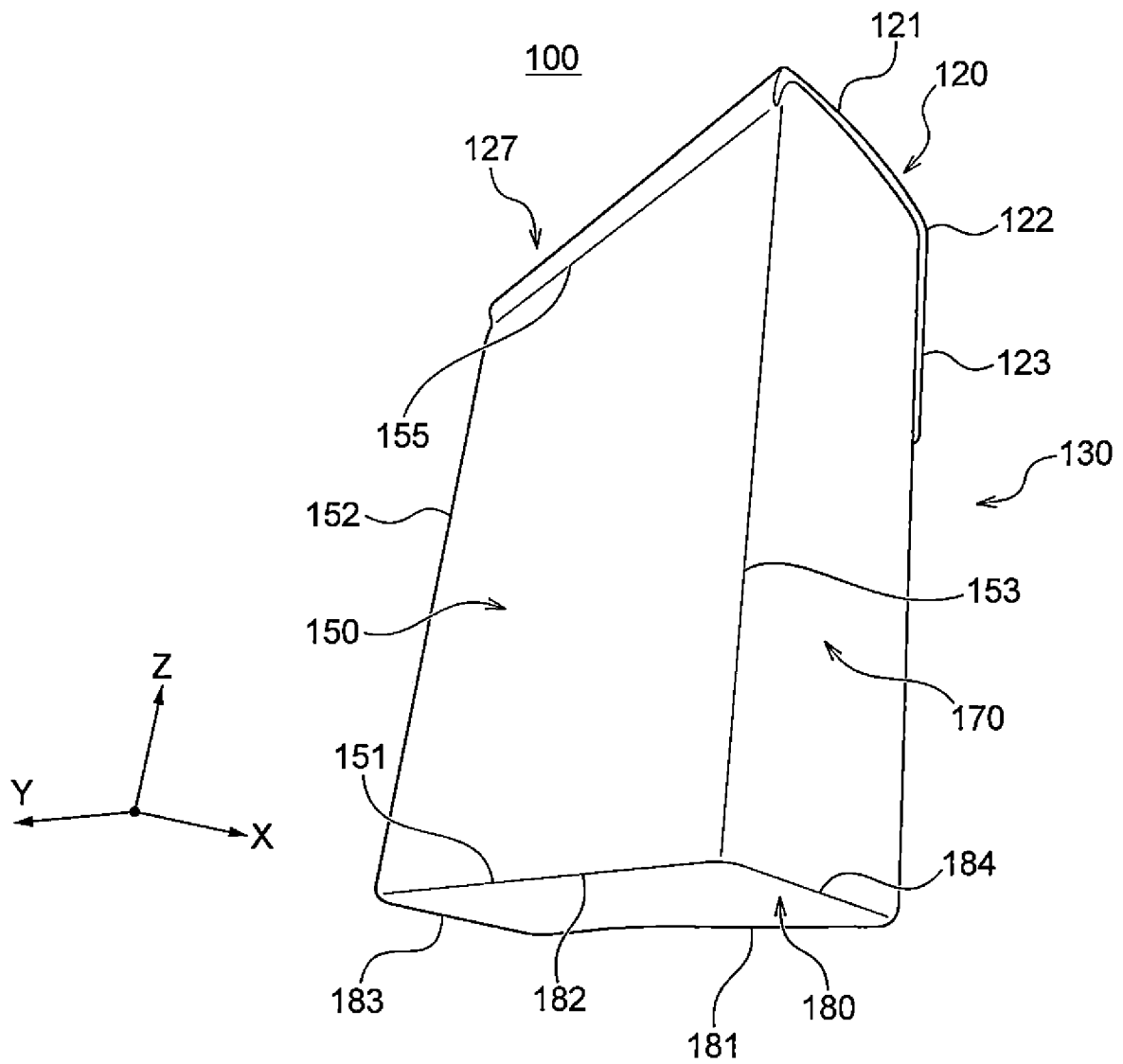
請求項1から15のいずれか一項に記載されたシガレットケースにおいて、

前記パッケージは、ガスバリア性のシート材から形成される、シガレットケース。

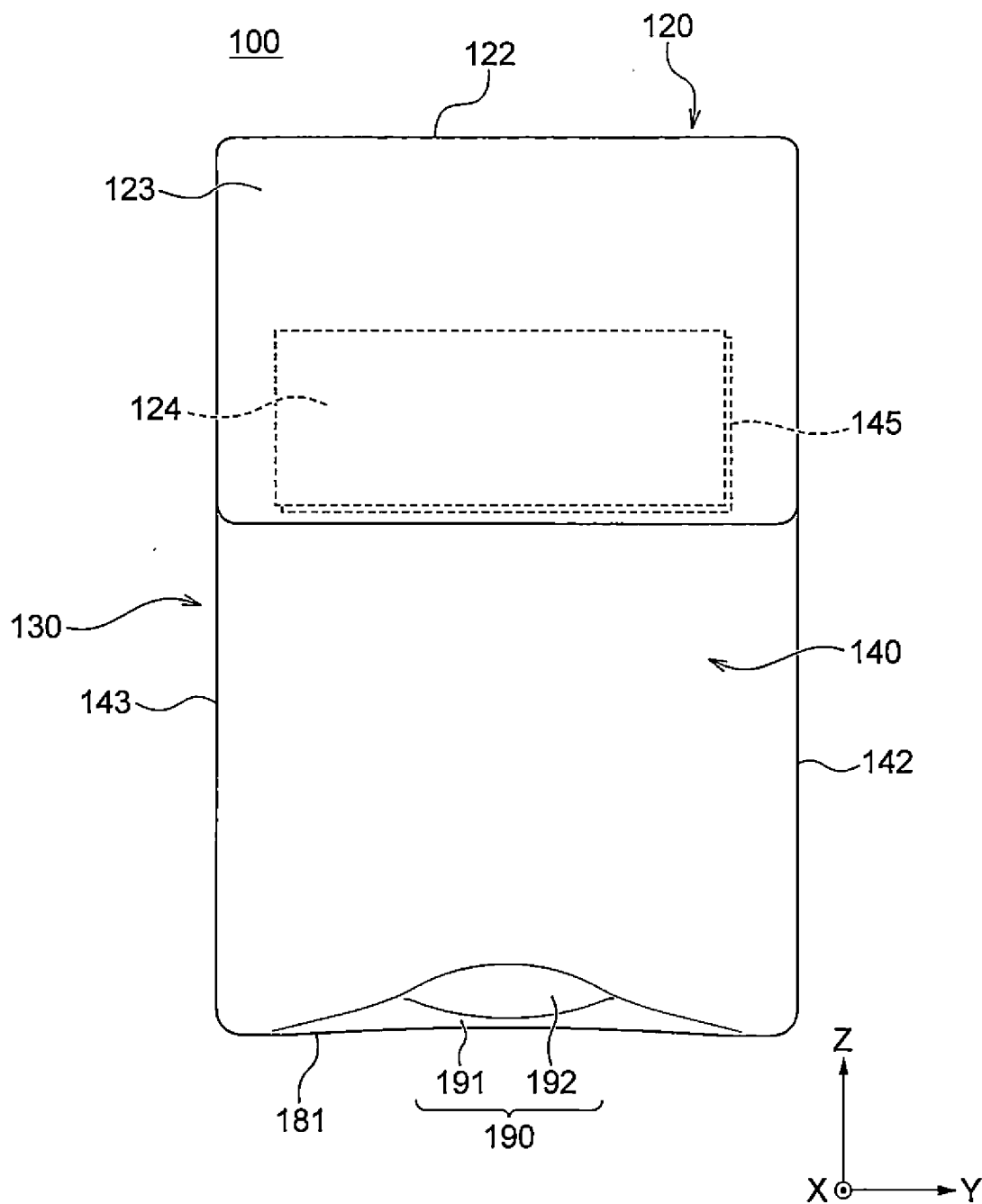
[図1]



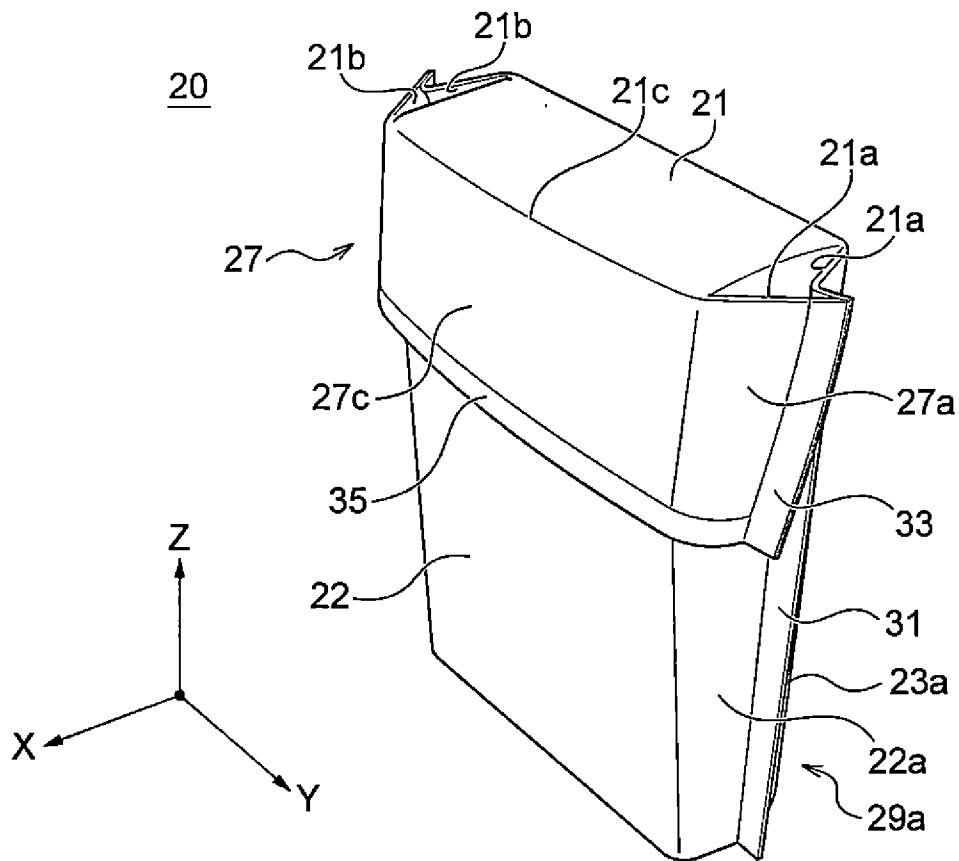
[図3]



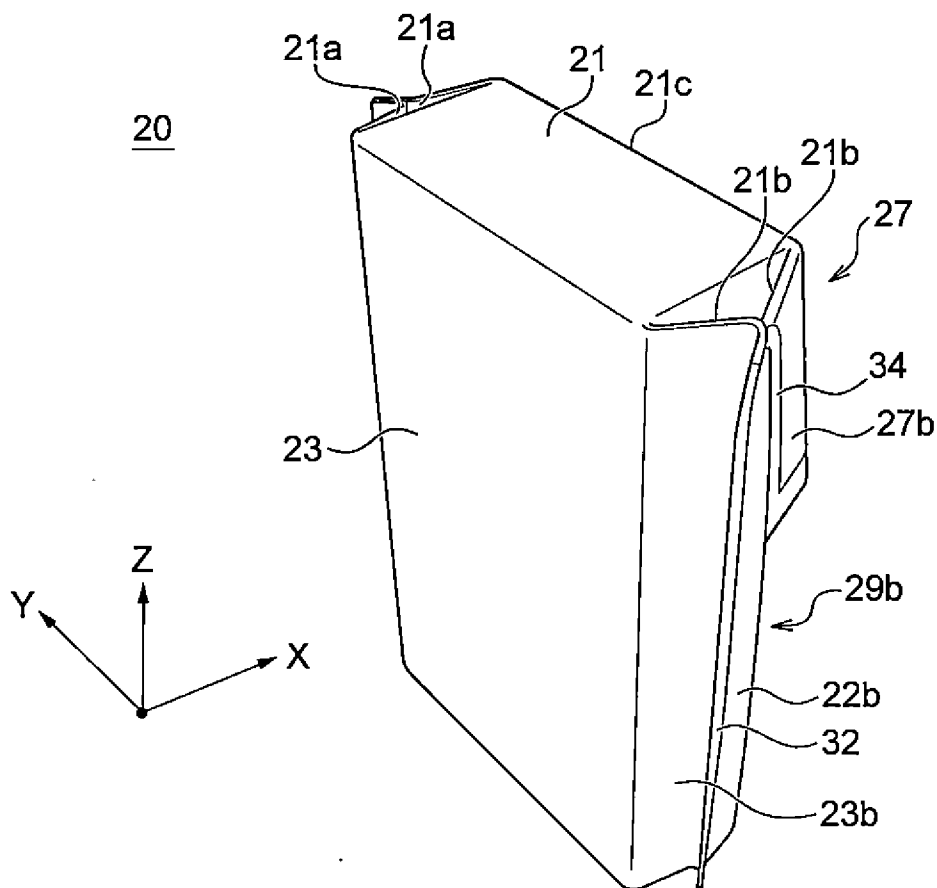
[図4]



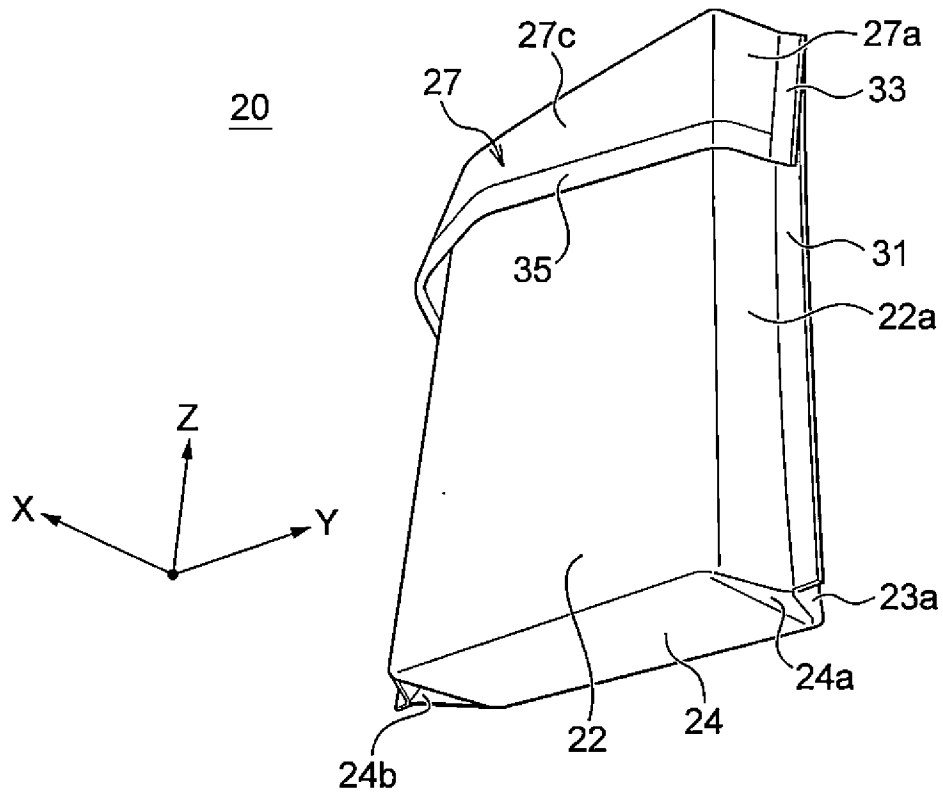
[図5]



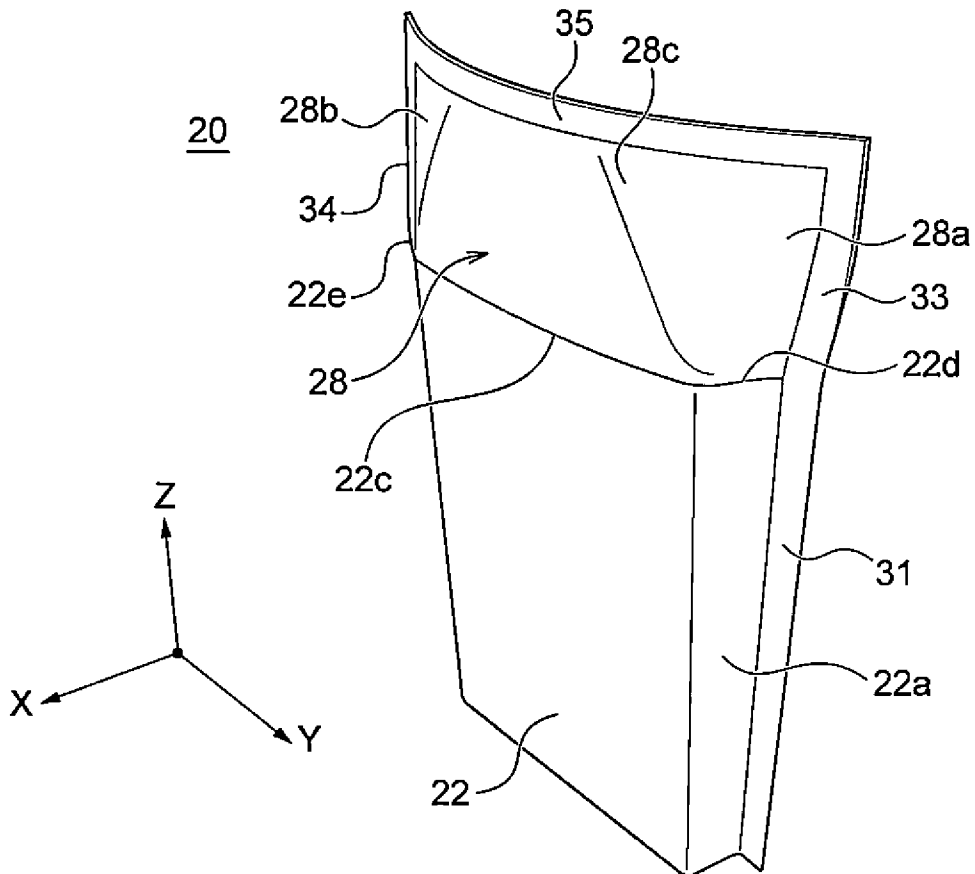
[図6]



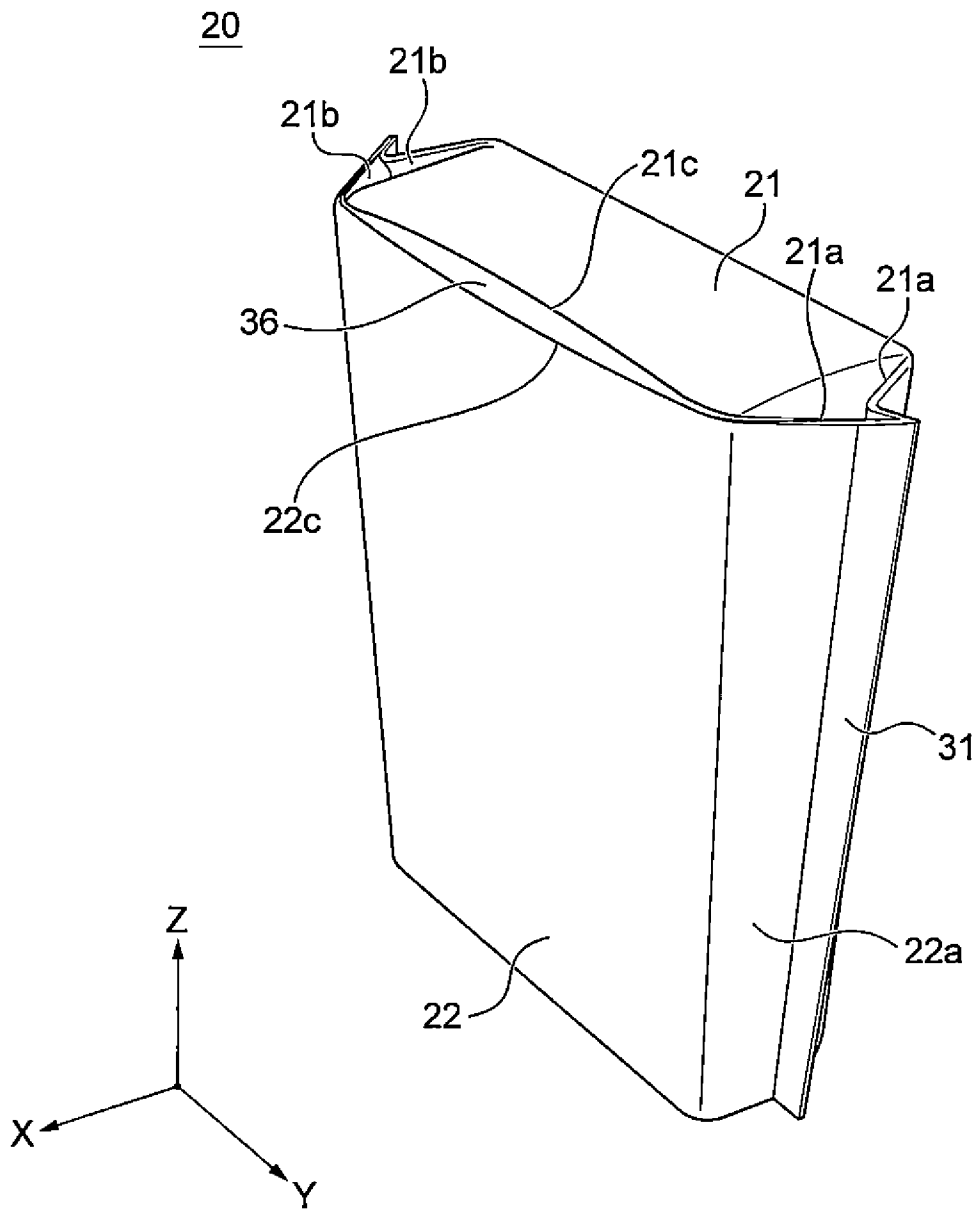
[図7]



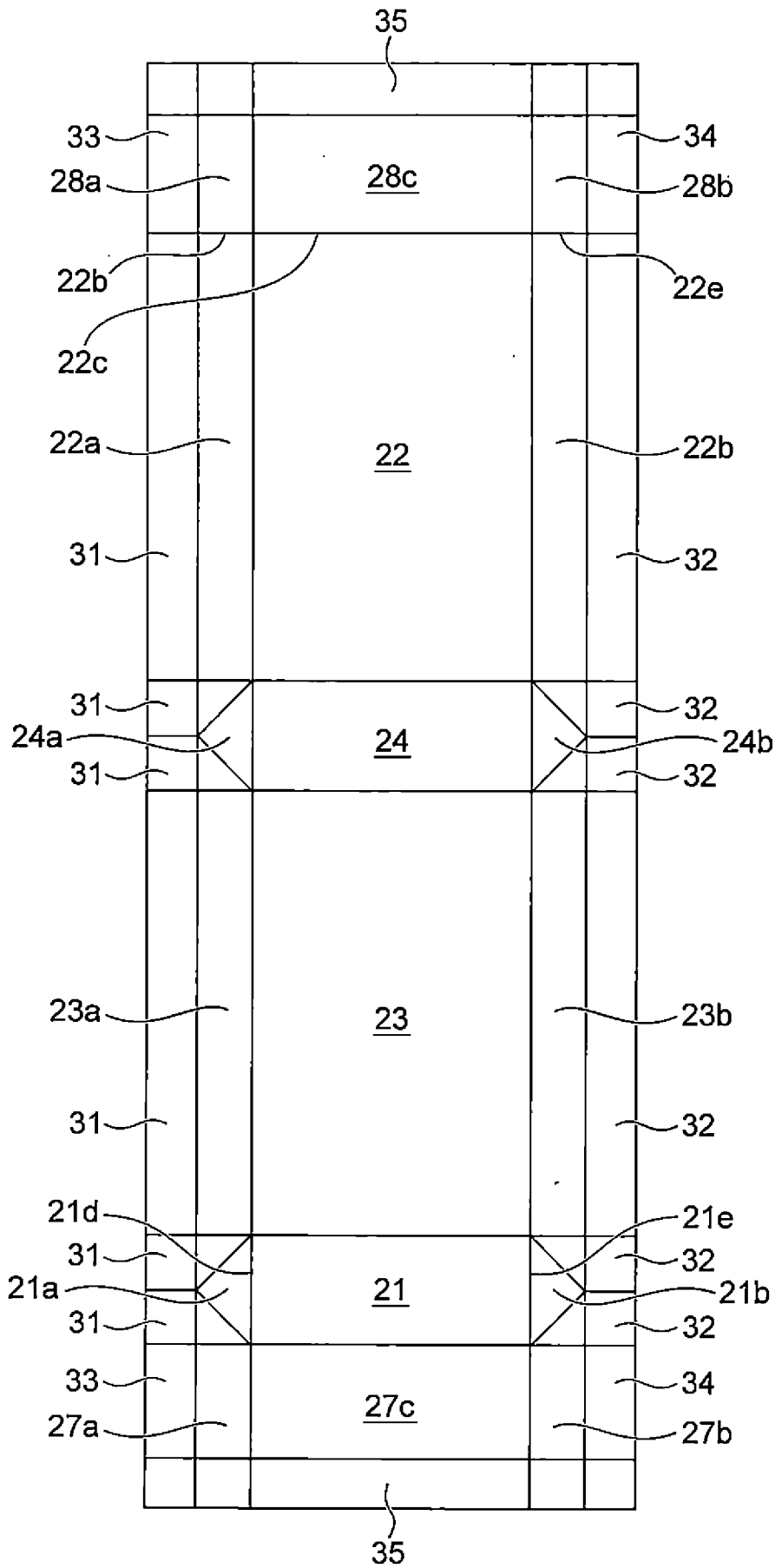
[図8]



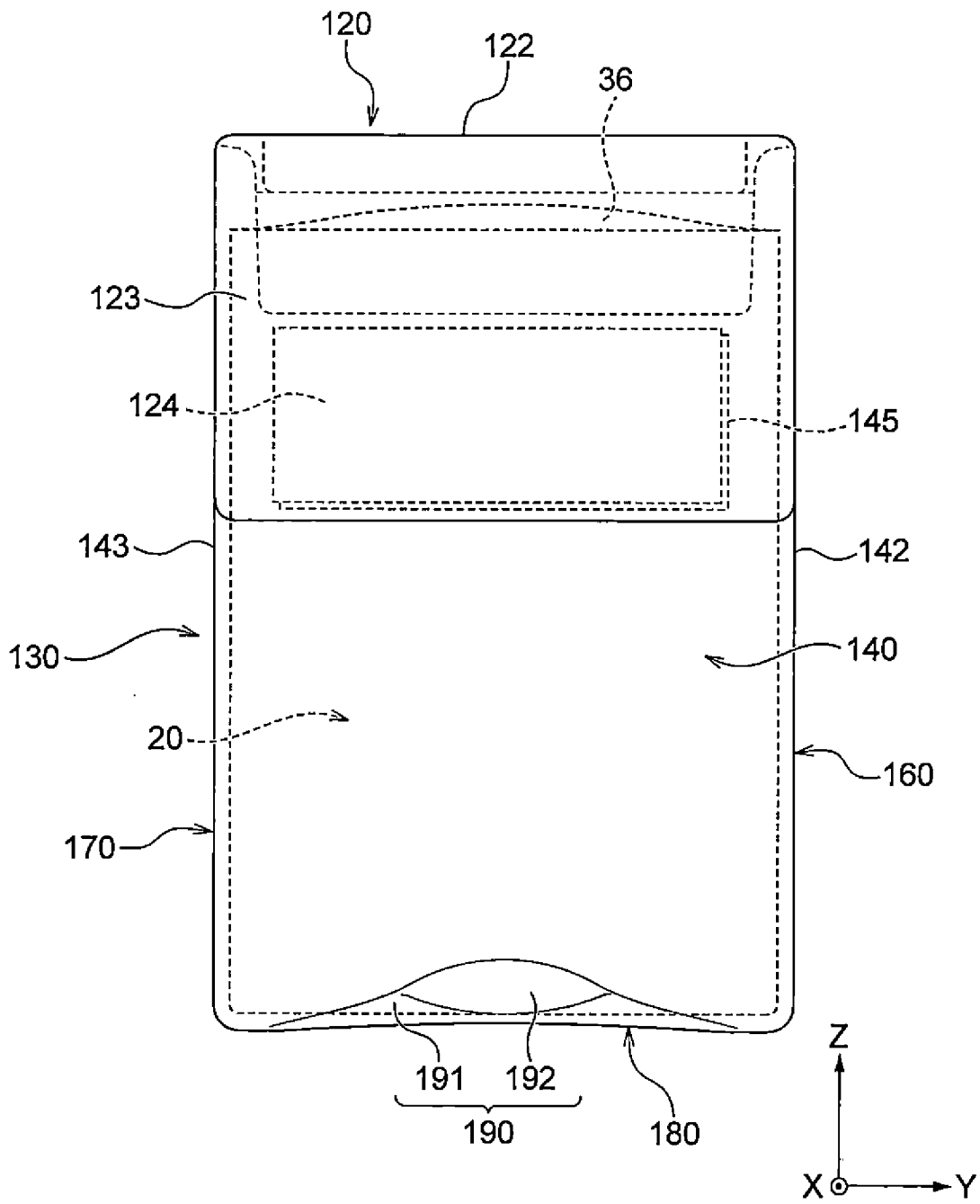
[図9]



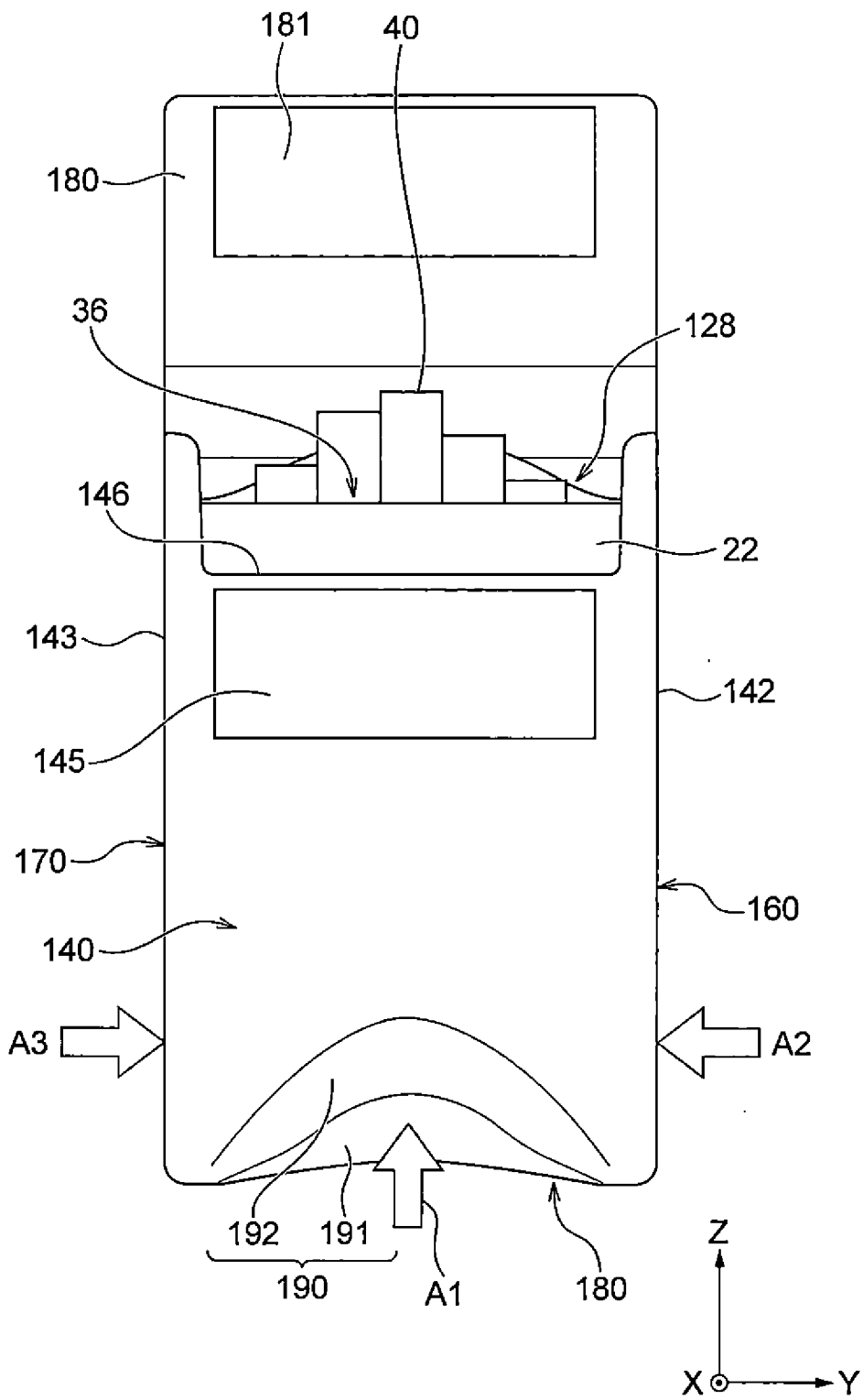
[図10]



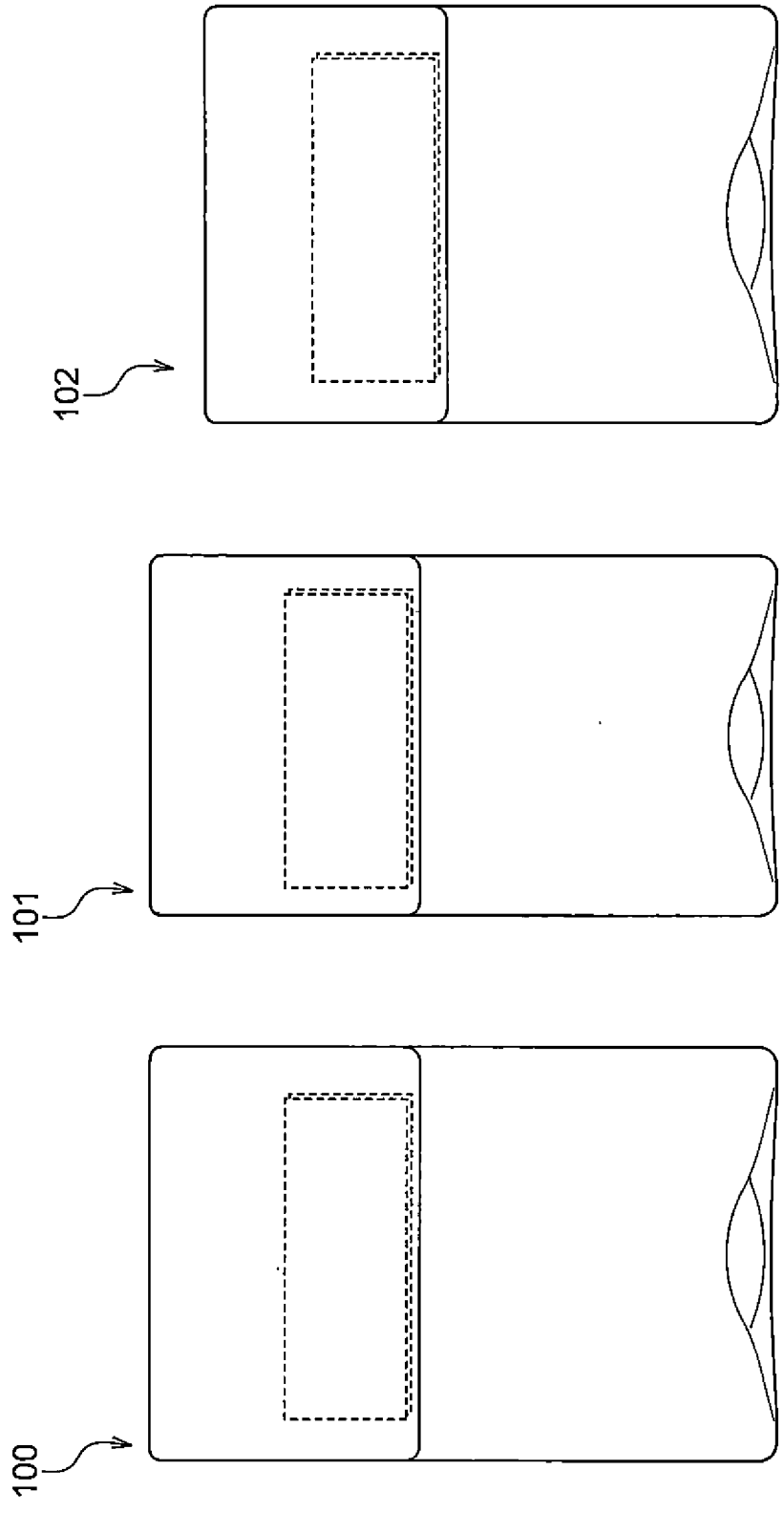
[図11]



[図12]



[図13]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2016/067101

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
B65D85/10(2006.01)i, A24F17/00(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
B65D85/10, A24F17/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2016
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2016	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2016

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2016-30626 A (Toppan Printing Co., Ltd.), 07 March 2016 (07.03.2016), entire text; all drawings (Family: none)	1-16
A	JP 2012-184009 A (Toppan Prosprint Co., Ltd.), 27 September 2012 (27.09.2012), entire text; all drawings (Family: none)	1-16
A	WO 2015/079513 A1 (Japan Tobacco Inc.), 04 June 2015 (04.06.2015), entire text; all drawings (Family: none)	11

Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search 04 August 2016 (04.08.16)	Date of mailing of the international search report 16 August 2016 (16.08.16)
--	---

Name and mailing address of the ISA/ Japan Patent Office 3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915, Japan	Authorized officer Telephone No.
--	---

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/067101

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2014-503433 A (Altria Client Services Inc.), 13 February 2014 (13.02.2014), paragraph [0025]; fig. 1 to 2 & US 2012/0291401 A1 paragraph [0031]; fig. 1 to 2 & WO 2012/082907 A1 & CA 2821760 A1	12-13
A	JP 2009-292515 A (Japan Tobacco Inc.), 17 December 2009 (17.12.2009), entire text; all drawings & WO 2009/148033 A1	1-16
A	JP 2013-527089 A (JT International S.A.), 27 June 2013 (27.06.2013), entire text; all drawings & US 2013/0098786 A1 & WO 2011/135340 A1 & EP 2383192 A1 & EP 2384985 A1 & CA 2797940 A1 & CN 102947189 A	1-16
A	JP 3-10288 Y1 (Haruyoshi KITAMORI), 14 September 1928 (14.09.1928), claims; fig. 1 to 2 (Family: none)	1-16

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. B65D85/10(2006.01)i, A24F17/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. B65D85/10, A24F17/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2016年
日本国実用新案登録公報	1996-2016年
日本国登録実用新案公報	1994-2016年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2016-30626 A (凸版印刷株式会社) 2016.03.07, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-16
A	JP 2012-184009 A (株式会社トッパンプロスプリント) 2012.09.27, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-16
A	WO 2015/079513 A1 (日本たばこ産業株式会社) 2015.06.04, 全文, 全図 (ファミリーなし)	11

☑ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

- 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
- 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
- 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
- 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
- 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

04.08.2016

国際調査報告の発送日

16.08.2016

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)
郵便番号 100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

長谷川 一郎

3N

9135

電話番号 03-3581-1101 内線 3361

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2014-503433 A (アルトリア クライアント サービスーズ インコーポレイテッド) 2014.02.13, [0025], 第1-2図 & US 2012/0291401 A1 [0031], 第1-2図& WO 2012/082907 A1 & CA 2821760 A1	12-13
A	JP 2009-292515 A (日本たばこ産業株式会社) 2009.12.17, 全文, 全図 & WO 2009/148033 A1	1-16
A	JP 2013-527089 A (ジェイティー インターナショナル エス. エイ.) 2013.06.27, 全文, 全図 & US 2013/0098786 A1 & WO 2011/135340 A1 & EP 2383192 A1 & EP 2384985 A1 & CA 2797940 A1 & CN 102947189 A	1-16
A	JP 3-10288 Y1 (北森治良) 1928.09.14, 登録請求の範囲, 第1-2 図 (ファミリーなし)	1-16